2021年7月
イーアイデム会員対象アンケート結果

TOPICS

今までで最も早く辞めてしまった職場の退職理由、
「職場の人間関係に問題があった」が30.5％で最多

勤務開始から1週間未満に退職したことのある人は1割程度

株式会社アイデム
東日本事業本部　データリサーチチーム

(c) AIDEM Inc.

調査概要

調査名

- 【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

調査目的

- 現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

調査対象

- 総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2021/07/01～2021/07/31の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

調査期間

- 2021/07/02～2021/08/05(34日間)

調査方法

- インターネットリサーチ

（株式会社マクロミル「クエスタント」を使用）

有効回答数

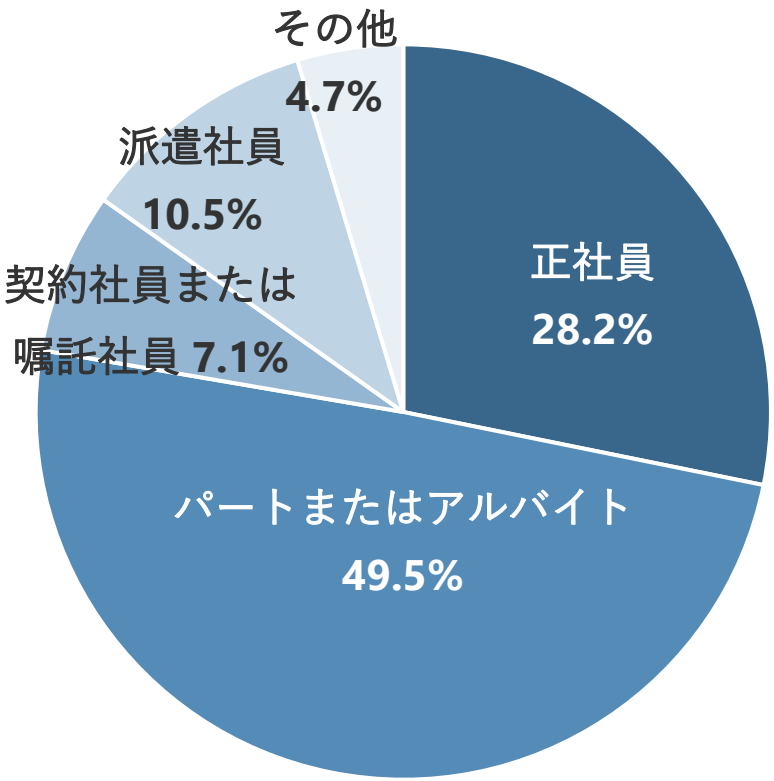
- 408件

※調査結果は四捨五入のために合計が100％にならない場合があります

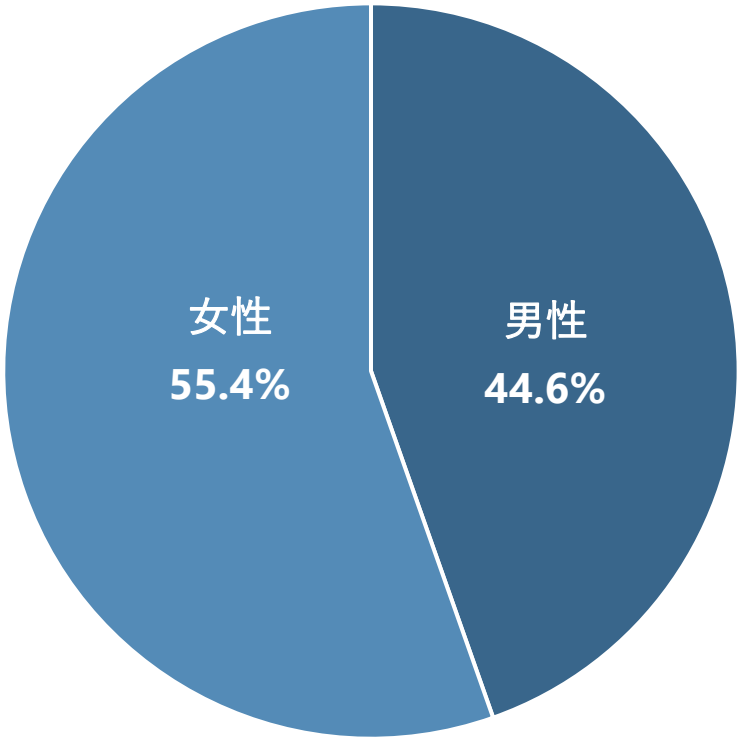
(c) AIDEM Inc.

回答者プロフィール

希望する雇用形態



性別



(c) AIDEM Inc.

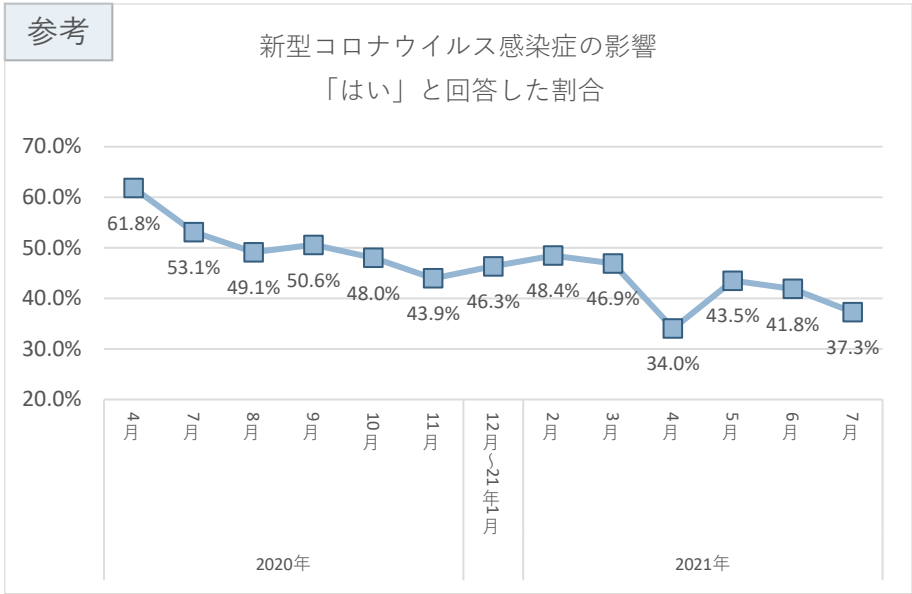
新型コロナウイルス感染症の影響

イーアイデムから求人に応募した人に、今回仕事探しをしている理由に「新型コロナウイルス感染症の影響」は関連しているかきいた。

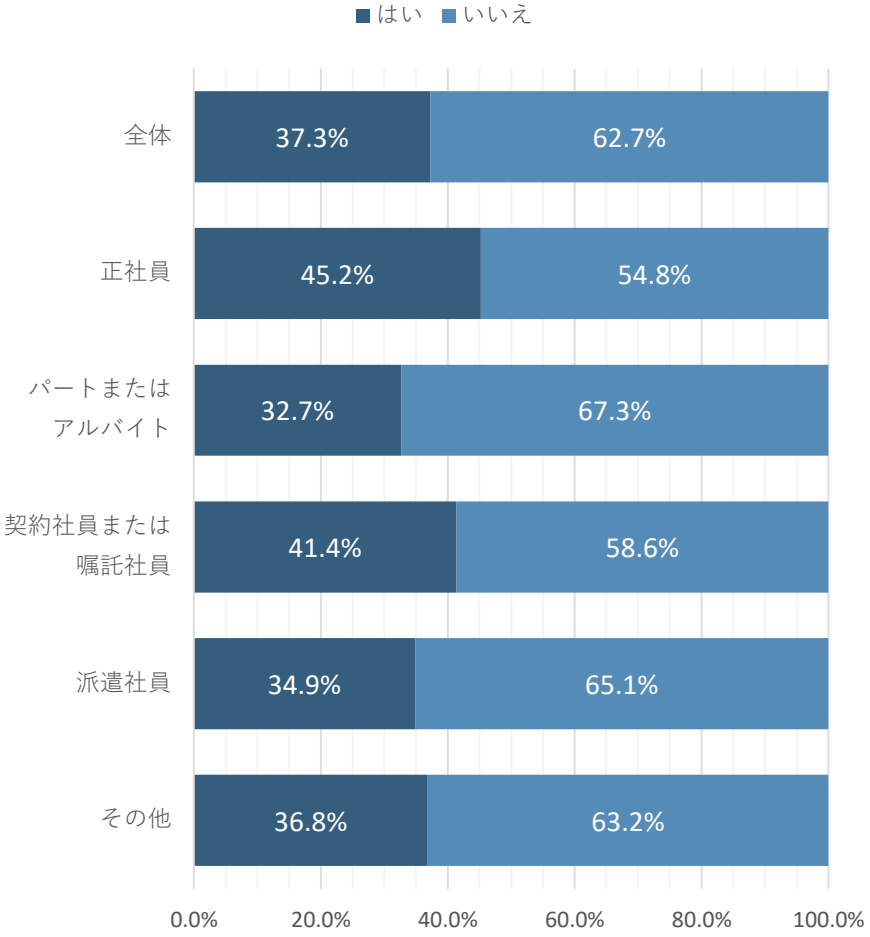
全体で37.3%が「はい」と回答し、4割弱の回答者が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて仕事探しをしていたことがわかった。2020年4月以降徐々に割合は減少してきているが、40%を切ったのは21年4月調査時と今回だけである。

希望雇用形態別に影響の有無をみると、「はい」は「正社員」では45.2%となり、全体数値に比べ約8pt高かった。「パートまたはアルバイト」では32.7%となり、希望雇用形態別では最も低い結果となった。

参考



今回仕事探しをしている理由には、新型コロナウイルス感染症の影響は関連していますか。



(c) AIDEM Inc.

新型コロナウイルス感染症拡大前後で仕事を選ぶ際の条件等は変わったか

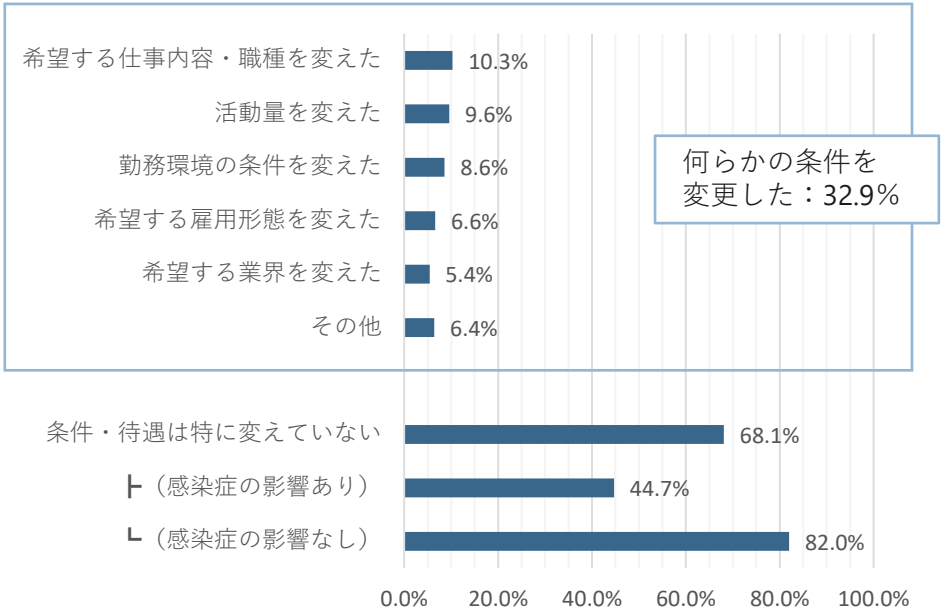
AIDEM

イーアイデムから求人に応募した人に、新型コロナウイルス感染症拡大の前後で仕事を選ぶ際の条件等は変わったかきいた。全体では「何らかの条件を変更した」32.9%、「条件・待遇は特に変えていない」68.1%となり、コロナ禍においても仕事探しの軸を変えない人が約7割となった。

「何らかの条件を変更した」人の状況を見ると、最も多かったのは「希望する仕事内容・職種を変えた」で10.3%、次いで「活動量を変えた」で9.6%、「勤務環境の条件を変えた」が8.6%となった。自由意見では、感染不安の軽減や新たな働き方を求める意見が見られた。

「条件・待遇は特に変えていない」について、今回仕事探しをしている理由に新型コロナウイルス感染症の影響がある人とない人を比較した（P4参照）。「感染症影響あり（『はい』と回答／以下同）」の人は、「条件・待遇は特に変えていない」割合が44.7%で、「感染症影響なし（『いいえ』と回答／以下同）」（82.0%）より37.3pt低くなっており、半数近くが注目する条件・待遇を見直したと回答した。

新型コロナウイルスの感染拡大により、仕事探しの際に注目する条件や待遇は変わりましたか？（複数回答）



見直した条件

希望雇用形態	性別	年齢層	自由意見
正社員	男性	30代	自分の健康や欲求に合った仕事をしたい。
パートまたはアルバイト	女性	30代	販売のような不特定多数の方と接するのはこわいため工場関係に。こどもが小さいのも理由です
パートまたはアルバイト	男性	40代	求人に対して応募人数が増加したと思います。その為に応募数を増やしたいと思います。
正社員	女性	40代	年齢的(40代後半の為)に最初から正社員登用は難しいと実感し、パートから正社員登用の求人を探しています。
派遣社員	女性	50代	できれば在宅勤務や対策のある企業で働きたいと思っている。
パートまたはアルバイト	女性	50代	感染しにくい業種を選んだ。コロナ対策をしている会社に行きたくなった。たくさんの求人サイトに登録した。

(c) AIDEM Inc.

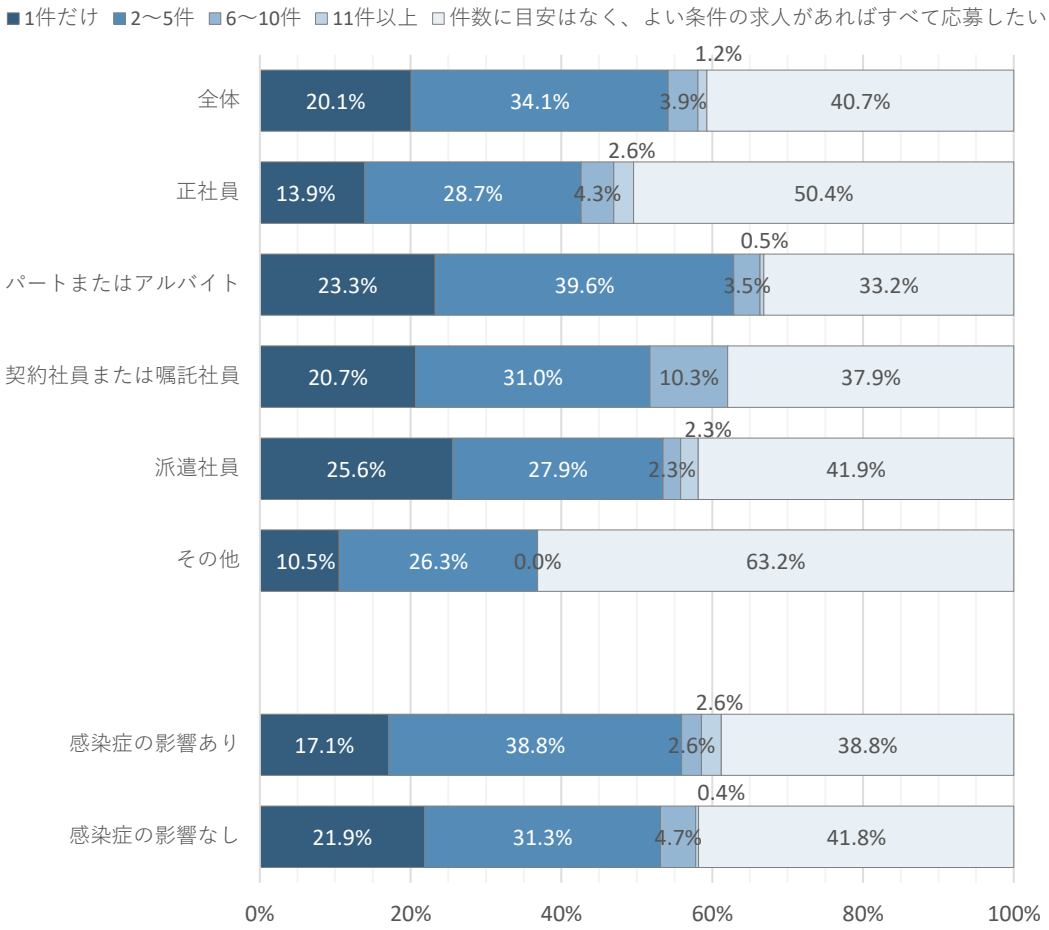
応募件数の目安

イーアイデムから求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかきいた。全体では、「よい条件の求人があればすべて応募したい」が最も多く40.7%、次いで「2～5件」が34.1%、「1件だけ」が20.1%、「6～10件」が3.9%、「11件以上」が1.2%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は約8割となり、多くの人が複数応募を前提に活動している。

希望雇用形態別にみると、「正社員」では、「件数に目安はなく、よい条件の求人があればすべて応募したい」の割合は約半数の50.4%となった。「パートまたはアルバイト」では「2～5件」が39.6%で、正社員希望者よりも10pt以上高かった。

仕事探しにおける新型コロナウイルス感染症の影響の有無（P4参照）との関連をみると、「感染症の影響なし」と回答した人は「感染症の影響あり」と回答した人よりも「1件だけ」の応募を検討する割合が高かった。「感染症の影響あり」と回答した人の方が、「件数に目安はなく、よい条件の求人があればすべて応募したい」を選んだ割合が高かった。

今回の求職活動期間の中で、
およそ何件ほど応募しようと思いますか。



(c) AIDEM Inc.

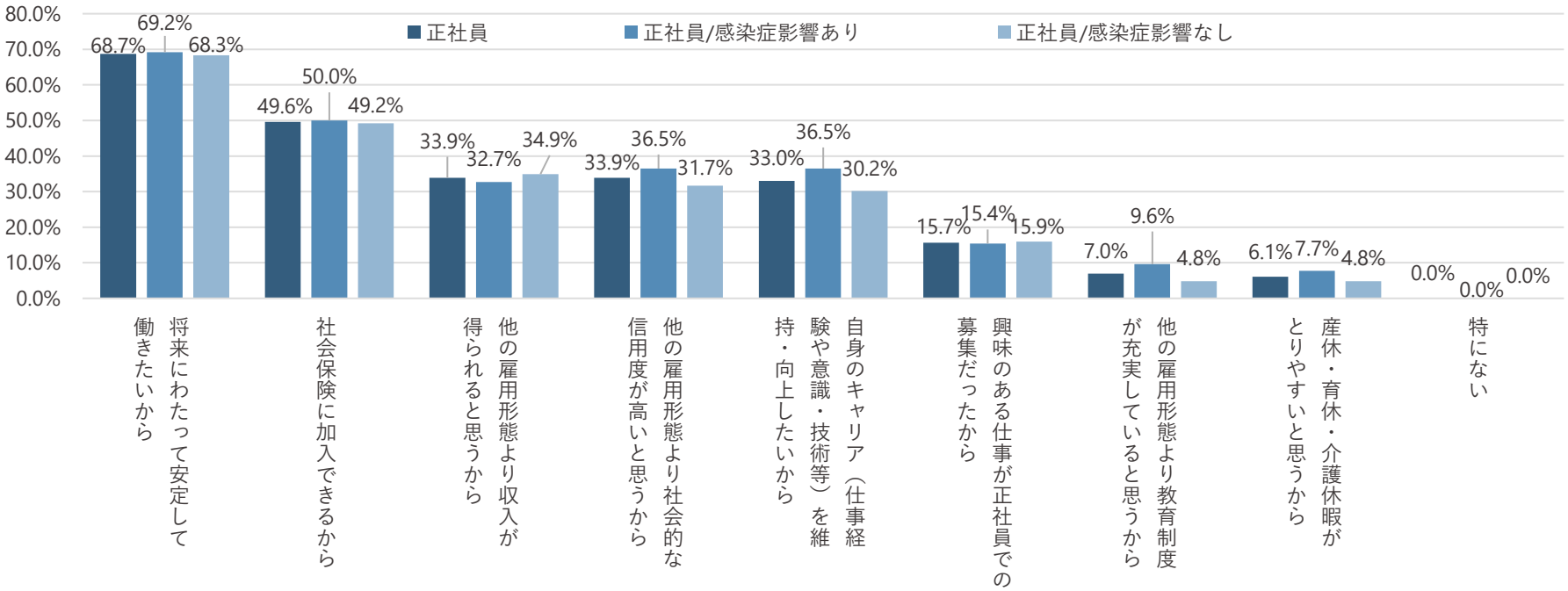
正社員を希望する理由

イーアイデムから求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」で68.7%、次いで「社会保険に加入できるから」が49.6%、「他の雇用形態より収入が得られると思うから」と「他の雇用形態より社会的な信用度が高いと思うから」がそれぞれ33.9%となっている。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）との関連をみると、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「自身のキャリアを維持・向上したいから」で6.3pt 、「他の雇用形態より社会的な信用度が高いと思うから」と「他の雇用形態より教育制度が充実していると思うから」でそれぞれ4.8pt高くなった。コロナ禍で企業の休業・雇止め・倒産などが相次ぎ、特に非正規雇用で働く人々へ大きな影を落としている。非正規雇用から正社員を目指している人も多いと推測され、教育機会を得てキャリアを向上させたい、社会的信用を得て不安なく生活したいと、より強く感じている傾向があるのかもしれない。

一方、「感染症影響なし」の人は「感染症影響あり」の人と比べて、回答割合が5pt以上高くなった項目はない。上位の「将来にわたって安定して働きたいから」「社会保険に加入できるから」は感染症の影響の有無で大きな差はなく、正社員を希望する求職者共通の傾向であるようだ。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



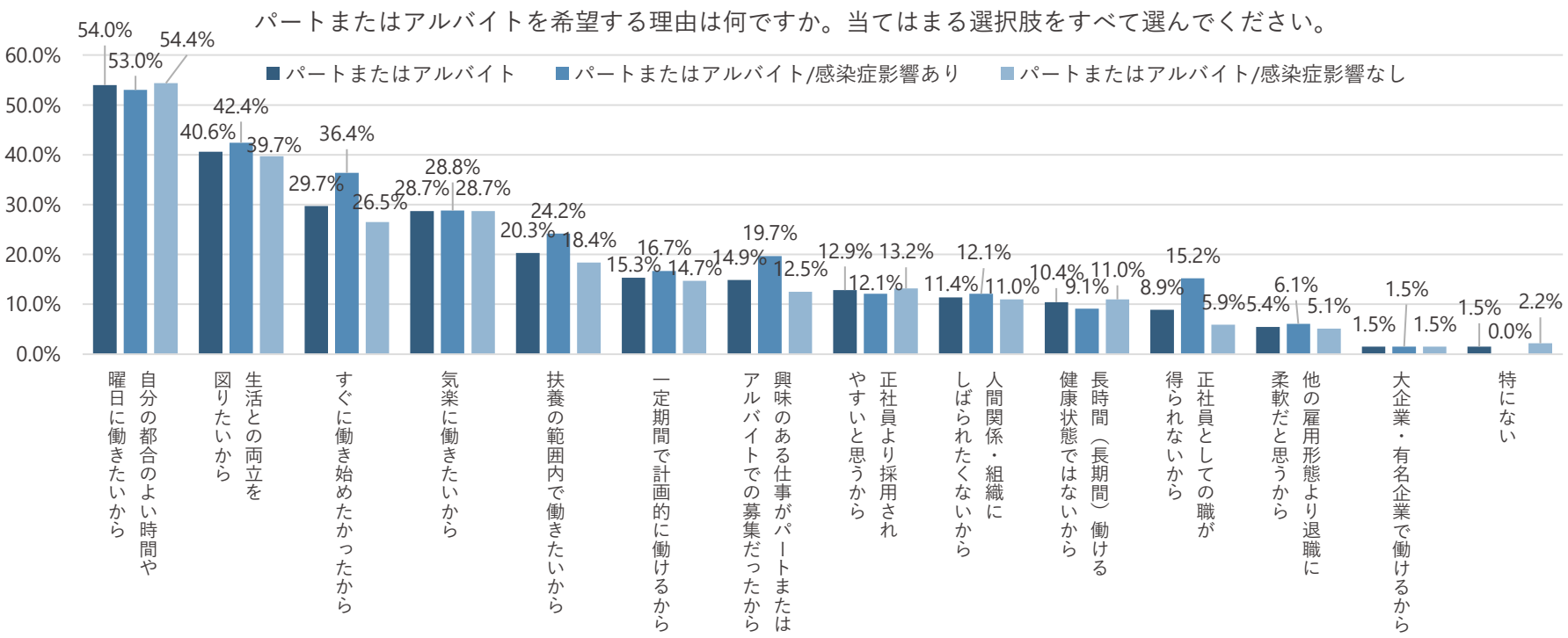
(c) AIDEM Inc.

パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムから求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合の良い時間や曜日に働きたいから」で54.0%、次いで「生活との両立を図りたいから」が40.6%、「すぐに働き始めたかったから」29.7%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）について、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人と比べて、「すぐに働き始めたかったから」は9.9pt、「正社員としての職が得られないから」は9.3pt、「興味のある仕事がパートまたはアルバイトでの募集だったから」は7.2pt高くなった。急ぎ職に就くことを優先し、不本意ながらパート・アルバイトで働こうとする人も一定数おり、切迫している様子がうかがえる。

「感染症影響なし」の人は「感染症影響あり」の人と比べて、回答割合が5pt以上高くなった項目はない。上位の「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」「生活との両立を図りたいから」「気楽に働きたいから」は感染症の影響の有無で大きな差はなく、パート・アルバイトを希望する求職者共通の傾向であるようだ。



(c) AIDEM Inc.

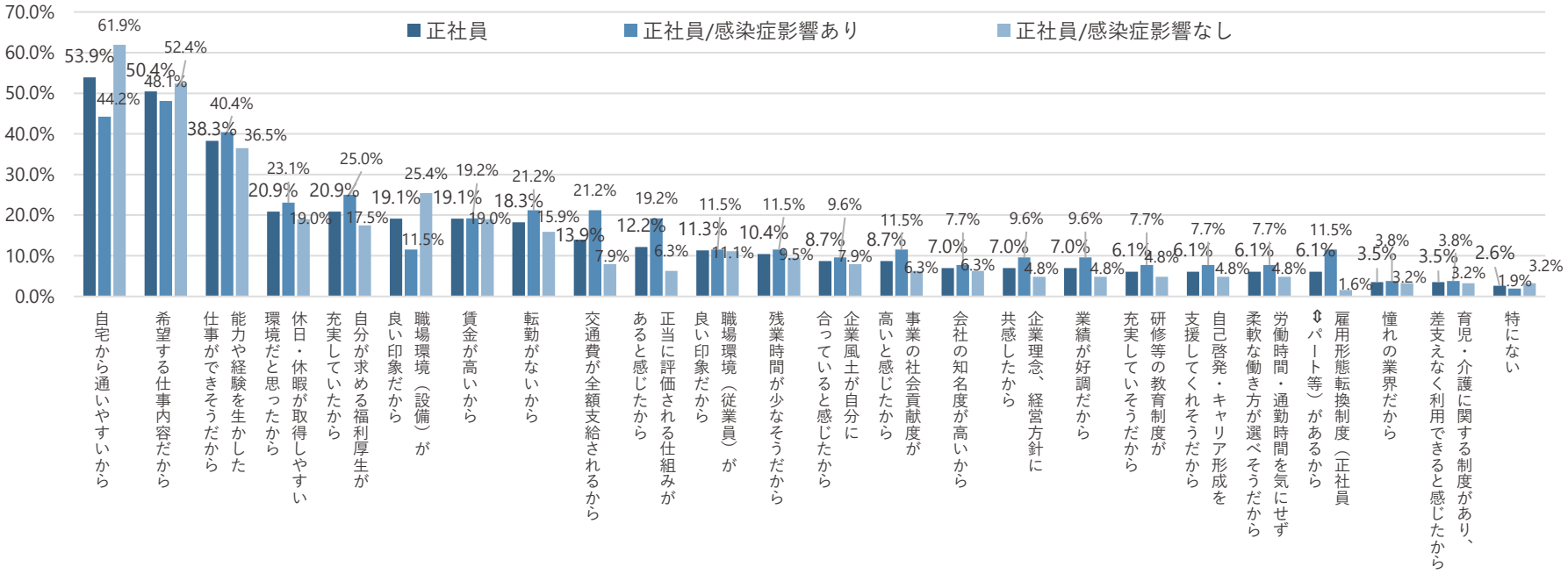
求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムから求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」の53.9%、次いで「希望する仕事内容だから」が50.4%、「能力や経験を生かした仕事ができそうだから」が38.3%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）との関係をみると、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「交通費が全額支給されるから」が13.3pt、「正当に評価される仕組みがあると感じたから」が12.9pt、「雇用形態転換制度（正社員⇔パート等）があるから」が9.9pt、「自分が求める福利厚生が充実していたから」が7.5pt高かった。コロナ禍で企業経営も厳しくなる中、自身が思っていた賃金や待遇、評価などが得づらかったことなどが背景にあるのかもしれない。

「感染症影響なし」の人では、「感染症影響あり」の人よりも「自宅から通いやすいから」 が17.7pt、「職場環境（設備）が良い印象だから」が13.9pt高く、自分の求める快適な仕事環境を選びながら仕事探しをしている傾向がみられる。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



(c) AIDEM Inc.

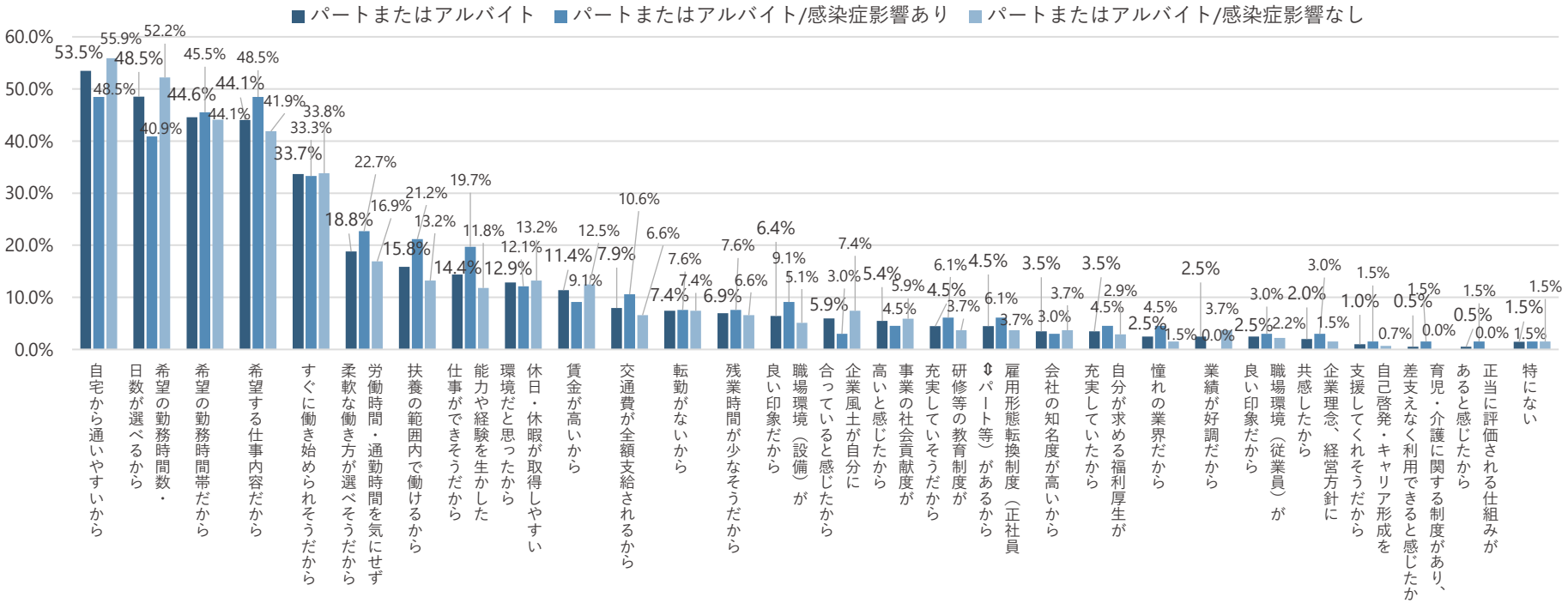
求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムから求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で53.5%、次いで「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が48.5%、「希望の勤務時間帯だから」が44.6%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）について、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「扶養の範囲内で働きたいから」が8.0pt、「能力や経験を生かした仕事ができそうだから」が7.9pt、「希望する仕事内容だから」が6.6ptが高くなった。自身の今までの経験を活かせる希望の仕事内容で働きたい意向がうかがえる。

「感染症影響なし」の人は、「感染症影響あり」の人よりも「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が11.3pt、「自宅から通いやすいから」が7.4pt高かった。通勤負担を少なく、自身の都合のつく時間で勤められる職場を探している傾向が強い。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



(c) AIDEM Inc.

今までで最も早く辞めてしまった職場での勤続期間と退職理由

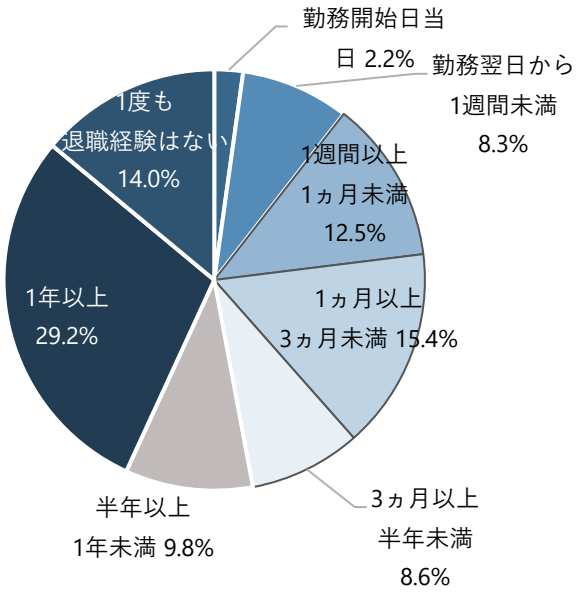
イーアイデムから求人に応募した人に、今までで最も早く辞めてしまった職場の勤続期間をきいた。

最も多かったのは「1年以上」で29.2%、次いで「1ヵ月以上3ヵ月未満」が15.4%だった。「勤務開始当日」2.2%、「勤務翌日から1週間未満」8.3%で、勤務開始から1週間未満に退職したことのある人も1割程度いた。

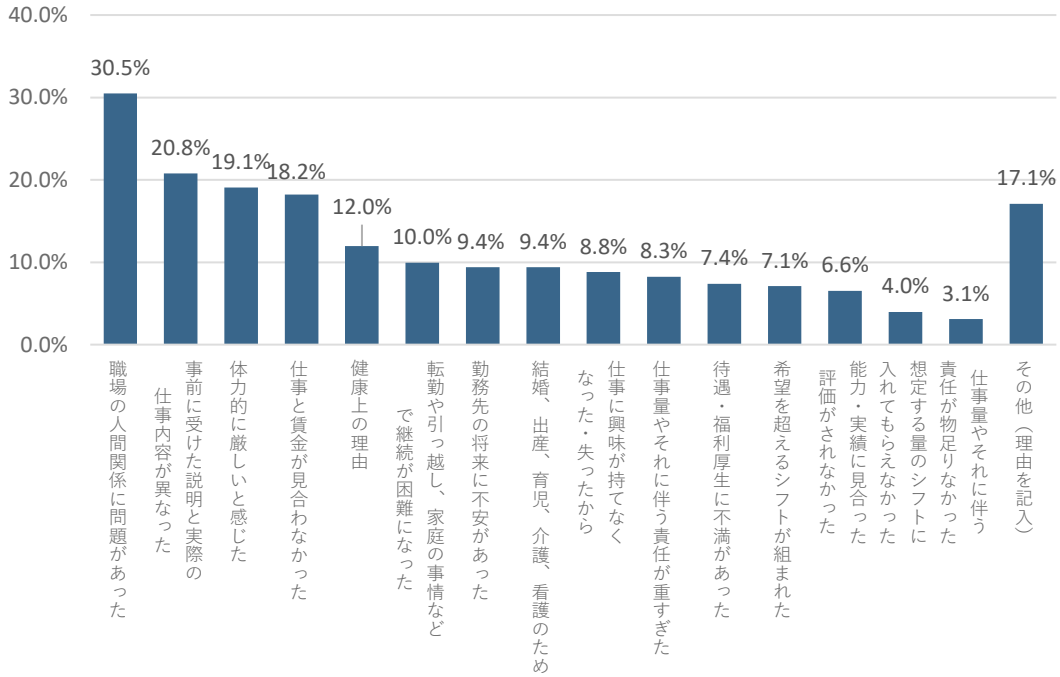
さらに、勤続期間について「1度も退職経験はない」と回答した人を除いて、今までで最も早く辞めてしまった職場の退職理由をきいた。

全体では、「職場の人間関係に問題があった」が30.5%で最多、次いで「事前に受けた説明と実際の仕事内容が異なった」20.8%、「体力的に厳しいと感じた」19.1%、「仕事と賃金が見合わなかった」18.2%の順となっている。

今までで最も早く辞めてしまった職場での勤続期間



今までで最も早く辞めてしまった職場の退職理由（複数回答）



(c) AIDEM Inc.

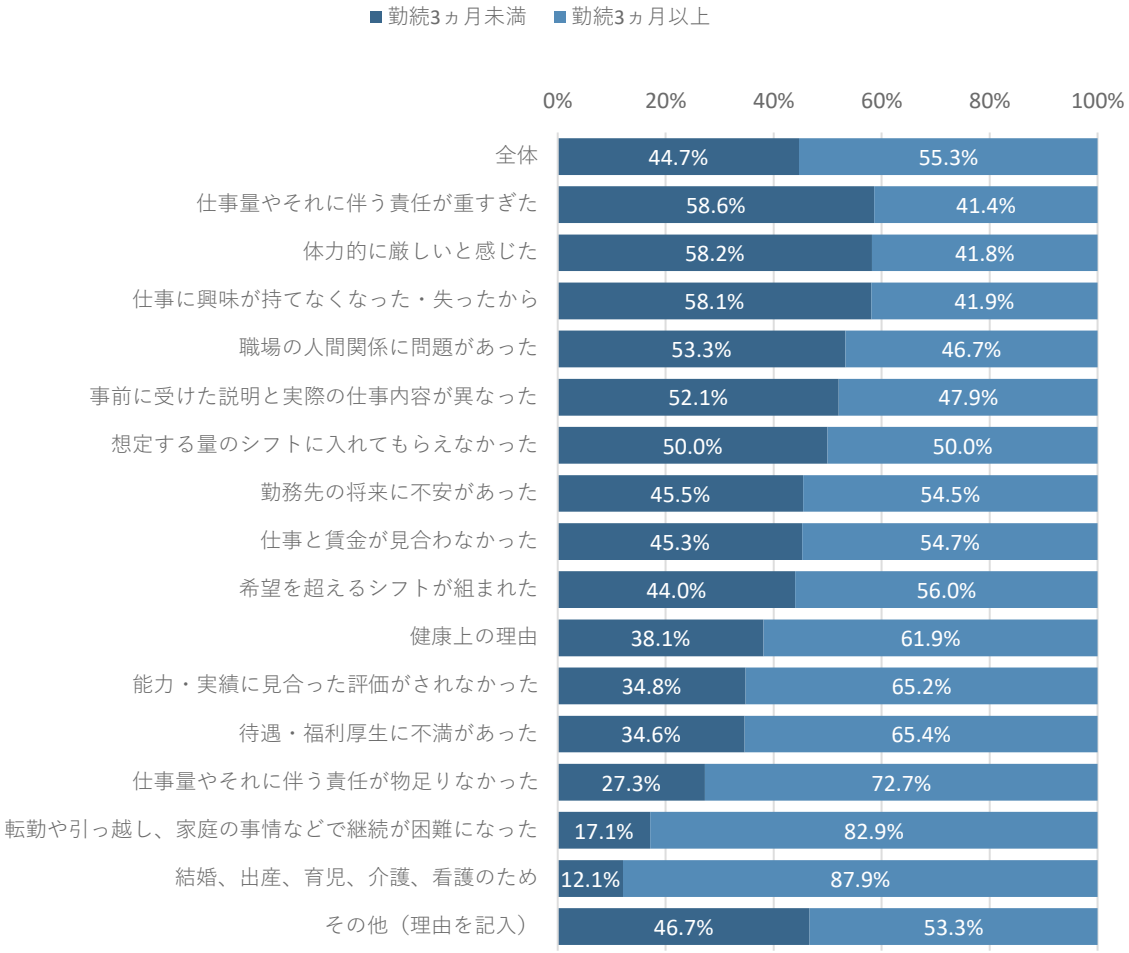
今までで最も早く辞めてしまった職場の退職理由

イーアイデムから求人に応募した人に、今までで最も早く辞めてしまった職場の退職理由を聞き、それぞれの退職理由に占める「勤続3ヵ月未満」と「勤続3ヵ月以上」の人の割合をみた（今までで最も早く辞めてしまった職場の勤続期間＜P11＞参照、勤続期間について「1度も退職経験はない」と回答した人を除く）。

「仕事量やそれに伴う責任が重すぎた」「体力的に厳しいと感じた」「仕事に興味が持てなくなった・失ったから」は、「勤続3ヵ月未満」で退職した人が約6割を占めている。入社前に想定していた仕事や人間関係に、入社後の状況にギャップが生じることが退職につながりやすいのかもしれない。

一方、「健康上の理由」「能力・実績に見合った評価がされなかった」「待遇・福利厚生に不満があった」は、「勤続3ヵ月以上」で退職した人が6割を占める。ある程度の期間働いたことで、待遇やや仕事への評価の仕方の内情を知り、不満が積もって退職につながったことが推測される。

今までで最も早く辞めてしまった職場の退職理由（複数回答）



(c) AIDEM Inc.